

檀原市スポーツ施設計画【検討資料編3】

**檀原市スポーツ施設のあり方に関する
アンケート調査結果報告書
(市民アンケート)**

檀 原 市

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、スポーツ施設計画を検討するにあたり、市民の皆様のスポーツ施設のご利用実態、スポーツや健康増進に対するお考えや、今後のスポーツ施設のあり方に対するご意見について把握するために実施しました。

(2) 調査対象

令和3年5月1日現在、橿原市在住の満18歳以上の市民1,500人を対象としました。

(3) 調査期間

令和3年6月28日から令和3年7月26日まで

(4) 調査方法

郵送により配布・回収を行いました。なお、スマートフォンやパソコンからインターネットを通じての回答も可としました。

(5) 回収状況

配布			回収			到達配布数 に対する 回収率
配布数	不到達数	到達配布数	回収 調査票数	うち 郵送回答	うち インターネット回答	
1,500	6	1,494	540	422	118	36.1%

※クロス集計表の見方※

- クロス集計とは、2つ以上の質問項目を掛け合わせて集計する手法のことで、質問項目を表の縦軸と横軸に分け、それぞれの選択肢が交わるセルに、該当する回答数や割合を記載した表を、クロス集計表といます。
- 本報告書におけるクロス集計表は、縦方向に数字を読み込む形で整理しており、単数回答の場合、縦方向の割合の合計が100となり、合計に対する割合を算出する母数は、回答数(=回答者数)となります。複数回答の場合、割合を算出する計算に使う母数は、回答数合計ではなく回答者数を使用します。そのため割合の合計が100%を越える場合があります。
- また、総数に対して、値が大きいセルに灰色の着色をしています。

例)

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		総数 (n=312)
		利用したことがある (n=482)	利用したことがない (n=129)	
問6 スポーツ を 行 い た い 理 由	健康・体力づくりのため	78.1	79.1	78.5
	ストレス解消や気晴らしのため	41.0	41.1	41.0
	スポーツを経験・体験するため	12.0	2.3	8.0
	運動不足解消のため	62.8	65.9	64.1
	自己の記録や能力を向上させるため	9.3	1.6	6.1
	家族や友人・知人とのふれあい・交流のため	29.5	12.4	22.4
	ボランティアのため	1.6	0.0	1.0
	美容のため	7.1	9.3	8.0
	自然とのふれあいのため	12.0	20.2	15.4
	趣味・娯楽として日課になっているため	19.1	9.3	15.1
	特に理由はない	3.8	6.2	4.8
	その他	1.6	1.6	1.6
無回答	7.1	3.1	5.4	

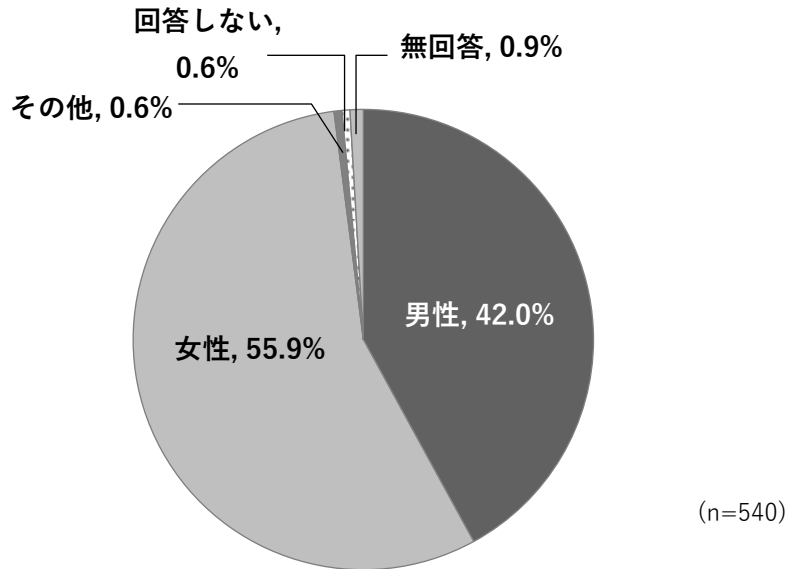
「利用したことがある」と回答した人(183人)に対する割合を表現

右端の「総数」における割合より高いセルに着色

1 あなたご自身のことについておたずねします。

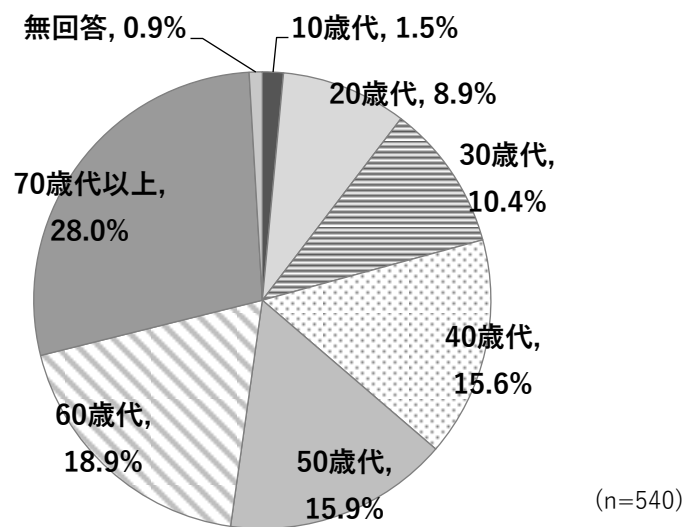
問1 性別

- ・ 「男性」が42.0%、「女性」が55.9%で、女性からの回答がやや多くなっています。



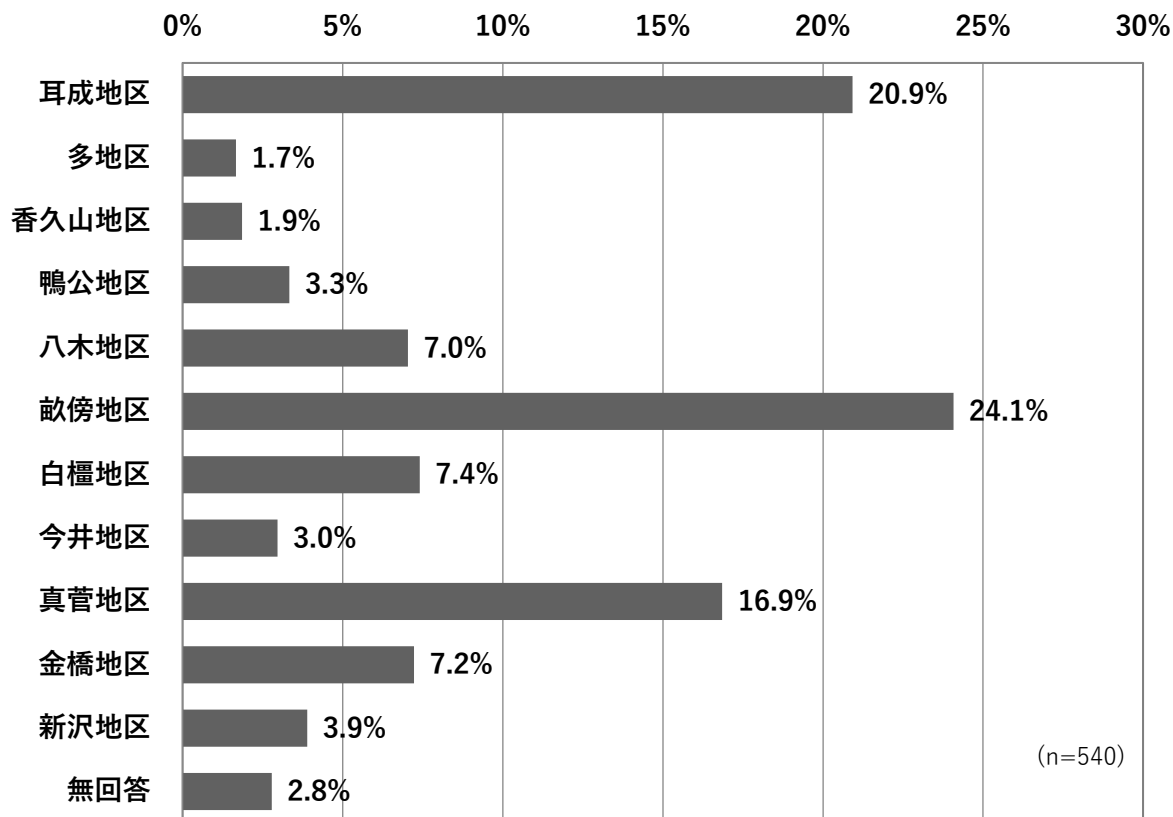
問2 年齢

- ・ 年齢については、「70歳以上」が28.0%と最も多く、次いで「60歳代」が18.9%、「50歳代」が15.9%、「40歳代」が15.6%の順で続きます。
- ・ 60歳以上が46.9%と約半数を占めており、回答者の年齢層は高めになっています。



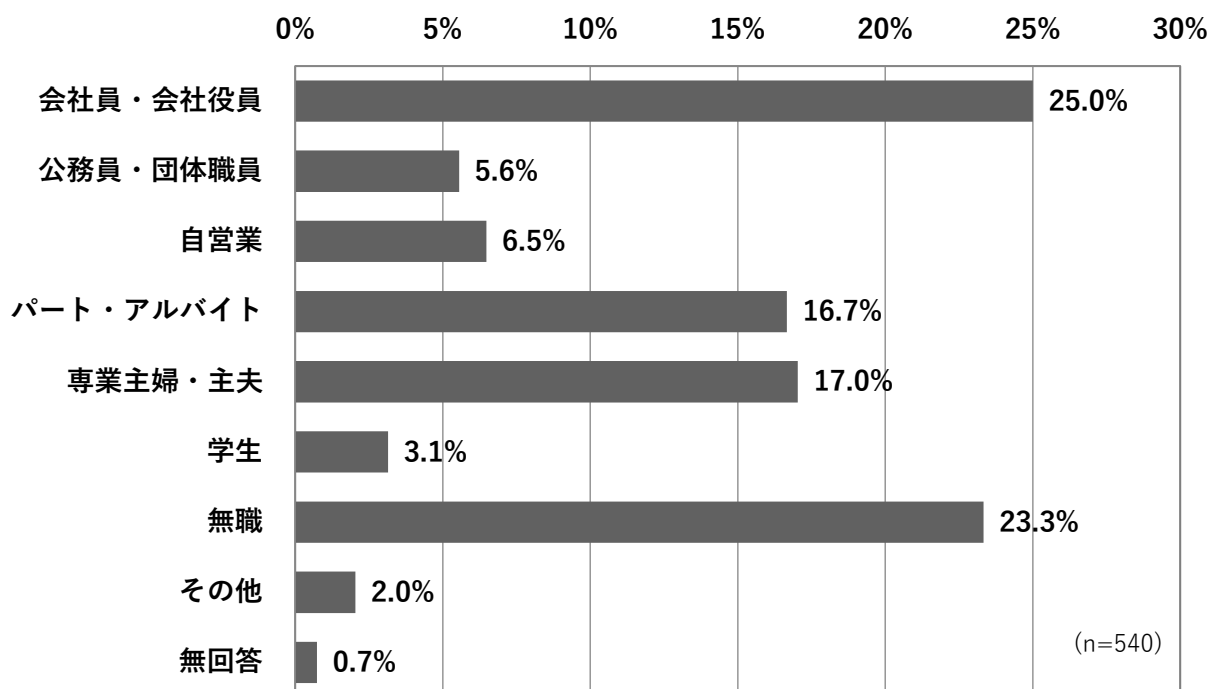
問3 居住地

- 居住地については、「畝傍地区」が24.1%と最も多く、次いで「耳成地区」が20.9%、「真菅地区」が16.9%となっています。



問4 職業

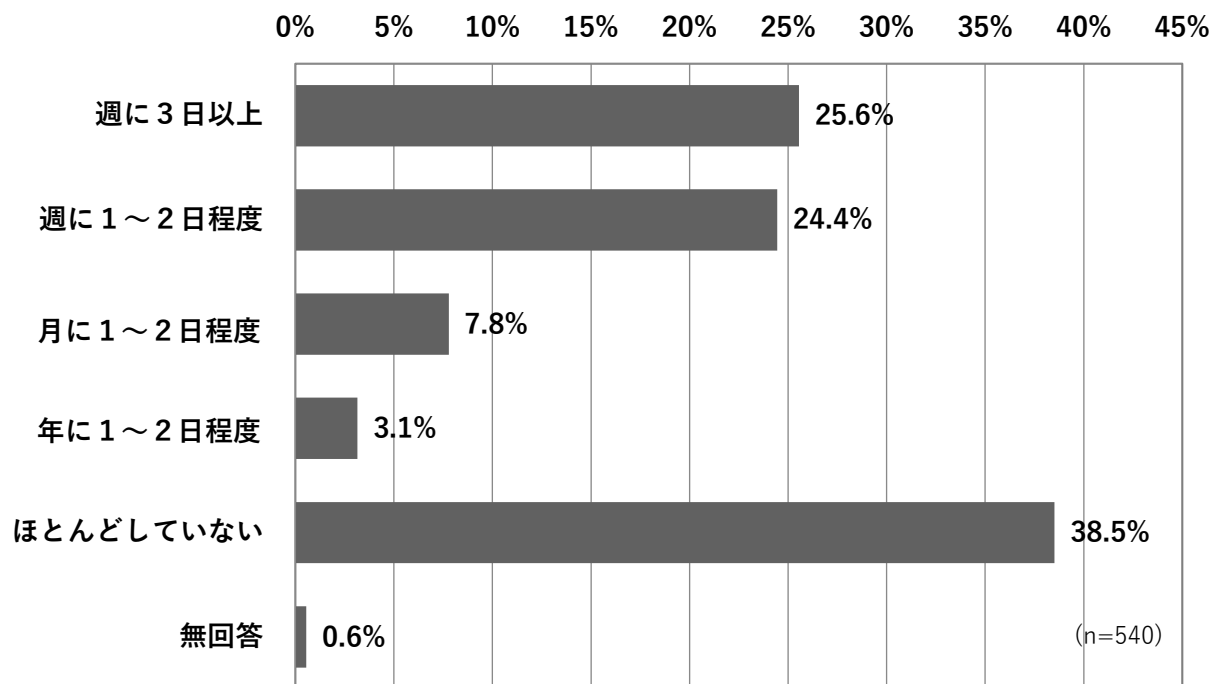
- 職業については、「会社員・会社役員」が25.0%と最も多く、次いで「無職」が23.3%、「専業主婦・主夫」が17.0%、「パート・アルバイト」が16.7%となっています。



2 スポーツの取組についておたずねします。

問5 あなたは日頃、どれくらいの頻度でスポーツ（キャッチボール、ウォーキングやラジオ体操の軽運動等を含む）を行っていますか。※新型コロナウイルス感染拡大前の状況についてお答えください 《○1つ》

- ・ 日頃のスポーツの実施頻度については、「ほとんどしていない」が38.5%と最も多くなっていますが、次いで「週に3日以上」が25.6%、「週に1～2日程度」が24.4%、「月に1～2日程度」は7.8%となっており、月に1日以上スポーツを実施している人は57.8%となります。
- ・ 約6割の方は、一定の割合でスポーツの実施を習慣化しているといえます。



(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

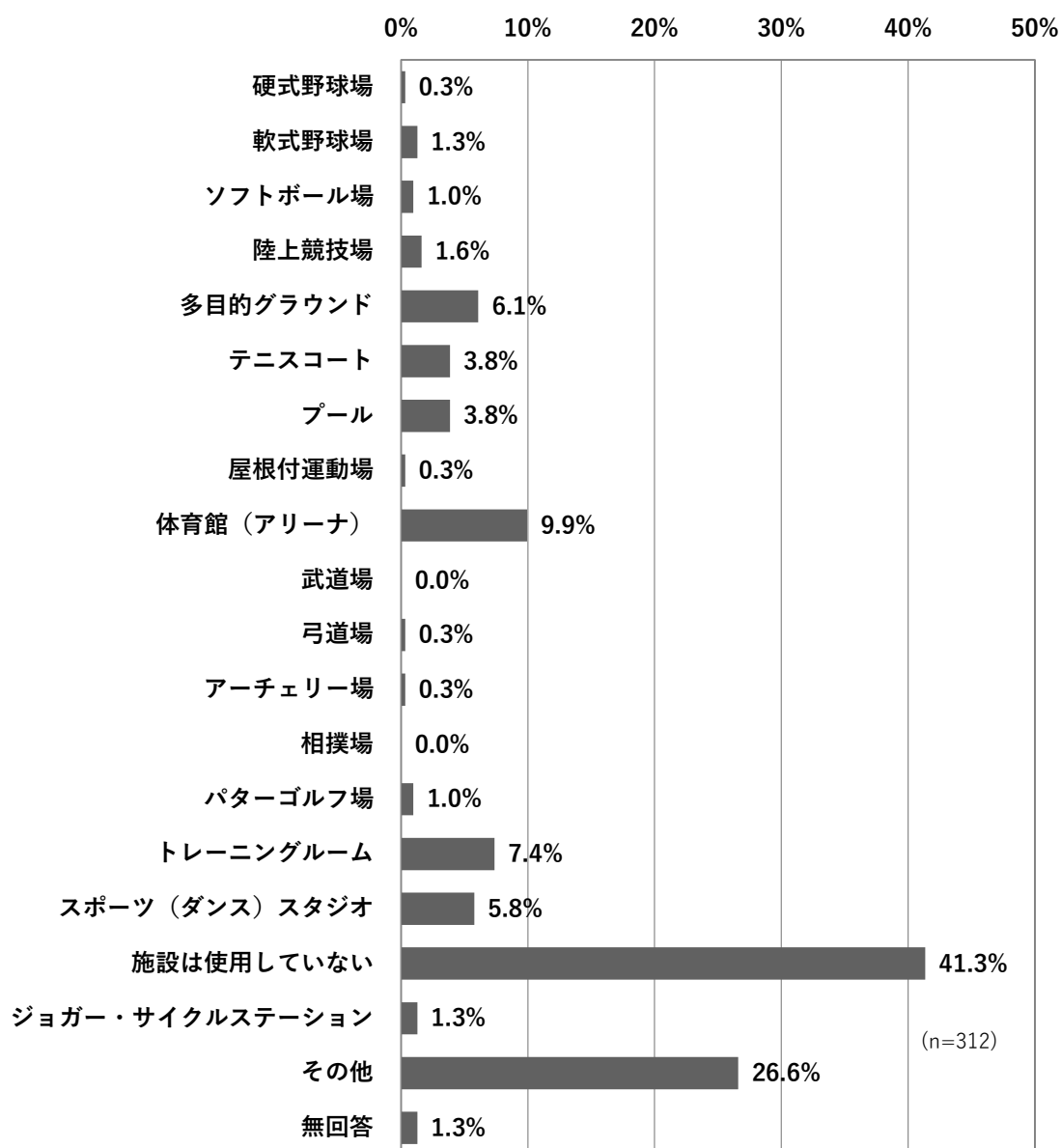
- 週に1日以上スポーツを行う人(「週に3日以上」と「週に1~2日程度」の合計)の割合は、70歳以上では59.6%、60歳代では55.9%、50歳代では51.2%となっており、各年代の大半を占めています。年齢層が高いほど、スポーツを行う頻度が高く、習慣化していると言えます。

		問2 年齢							無回答 (n=5)	総数 (n=540)
		10歳代 (n=8)	20歳代 (n=48)	30歳代 (n=56)	40歳代 (n=84)	50歳代 (n=86)	60歳代 (n=102)	70歳代以上 (n=151)		
問5 スポーツを行う頻度	週に3日以上	0.0	18.8	16.1	11.9	23.3	30.4	39.1	0.0	25.6
	週に1~2日程度	37.5	25.0	28.6	22.6	27.9	25.5	20.5	20.0	24.4
	月に1~2日程度	0.0	10.4	5.4	10.7	8.1	10.8	4.6	0.0	7.8
	年に1~2日程度	0.0	10.4	3.6	6.0	2.3	2.0	0.7	0.0	3.1
	ほとんどしていない	62.5	35.4	46.4	48.8	38.4	31.4	34.4	40.0	38.5
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	40.0	0.6

(%)

問 5-1 問 5 で、「1. 週に3日以上」「2. 週に1～2日程度」「3. 月に1～2日程度」とお答えの方におたずねします。スポーツをするために、どのような施設を使っていますか。※新型コロナウイルス感染拡大前の状況についてお答えください《あてはまるものすべて》

- ・ スポーツの実施場所については、「施設は使用していない」が49.0%と最も多く、次いで「体育館（アリーナ）」が9.9%、「トレーニングルーム」が7.4%、「多目的グラウンド」が6.1%、「スポーツ（ダンス）スタジオ」が5.8%となっています。
- ・ 問6の回答も踏まえると、約半数の方は、スポーツ施設は使用せず、自宅や公園・まちなか等の身近な環境の中で、筋トレ、体操、ランニング・ウォーキング等の軽運動を楽しんでいると想定されます。
- ・ スポーツ施設を使用される場合は、体育館や多目的グラウンド等の自由度の高い施設やトレーニングルームやスポーツスタジオ等のトレーニングや軽運動ができる屋内施設が利用されているといえます。



(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

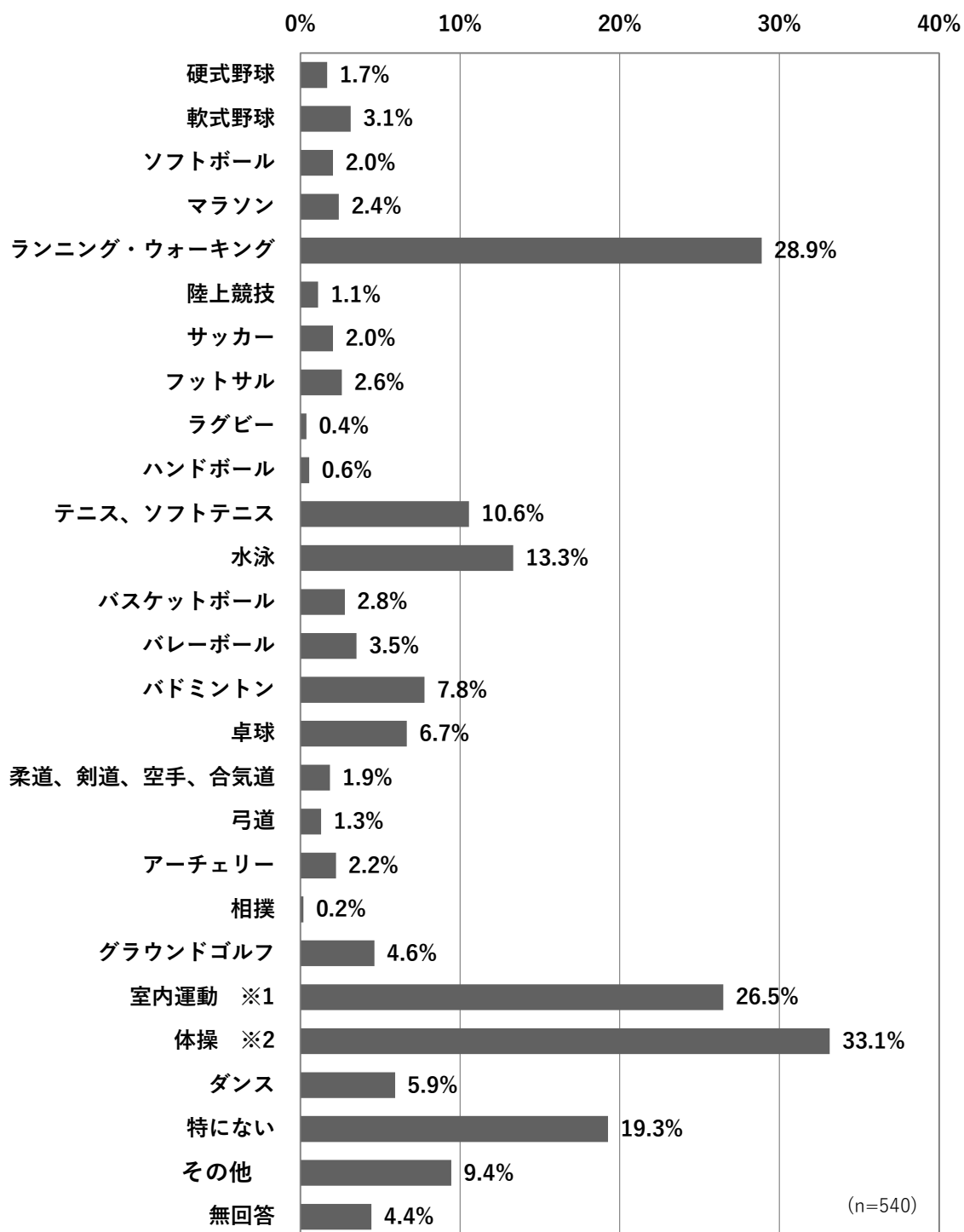
- ・ 全体では、「施設は使用していない」が41.3%と最も多い回答となりましたが、特に、60歳代(57.4%)、40歳代(52.6%)、50歳代(47.1%)でより割合が高くなっています。
- ・ 一方で、30歳以下の比較的若い世代では、「陸上競技場」、「多目的グラウンド」、「体育館」等のスポーツ施設を使用する割合が全体よりも高くなっています。

		問2 年齢							無回答 (n=1)	総数 (n=312)
		10歳代 (n=3)	20歳代 (n=26)	30歳代 (n=28)	40歳代 (n=38)	50歳代 (n=51)	60歳代 (n=68)	70歳代以上 (n=97)		
問 5 1 ス ポ ー ツ を 行 う と き に 使 用 す る 施 設	硬式野球場	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	軟式野球場	0.0	0.0	3.6	2.6	3.9	0.0	0.0	0.0	1.3
	ソフトボール場	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	1.0
	陸上競技場	33.3	3.8	7.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
	多目的グラウンド	66.7	15.4	3.6	7.9	2.0	0.0	8.2	0.0	6.1
	テニスコート	33.3	3.8	0.0	5.3	5.9	5.9	1.0	0.0	3.8
	プール	0.0	11.5	7.1	2.6	2.0	2.9	3.1	0.0	3.8
	屋根付運動場	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	体育館(アリーナ)	33.3	26.9	21.4	10.5	7.8	4.4	6.2	0.0	9.9
	武道場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	弓道場	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	アーチェリー場	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	相撲場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パターゴルフ場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	1.0
	トレーニングルーム	33.3	19.2	7.1	5.3	5.9	5.9	6.2	0.0	7.4
	スポーツ(ダンス)スタジオ	0.0	11.5	3.6	0.0	9.8	5.9	5.2	0.0	5.8
	施設は使用していない	0.0	30.8	35.7	52.6	47.1	57.4	28.9	0.0	41.3
	ジョガー・サイクルステーション	0.0	0.0	3.6	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
その他	0.0	7.7	17.9	15.8	19.6	16.2	49.5	100.0	26.6	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.1	0.0	1.3	

(%)

問6 現在行っているものを含めて、今後行ってみたいと思うスポーツはありますか。理由も教えてください。《あてはまるものすべて》

- ・ 実施している・実施したいスポーツの種類については、「体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、ストレッチ等）」が33.1%と最も多く、次いで「ランニング・ウォーキング」が28.9%、「室内運動（トレーニング機器を使ってする運動、筋トレ等）」が26.5%、「水泳」が13.3%、「テニス、ソフトテニス」が10.6%となっています。
- ・ 身近な環境の中で気軽に楽しむことができるスポーツ（筋トレ、体操、ランニング・ウォーキング）のほか、幅広い世代が楽しむことができるスポーツ（水泳、テニス、ソフトテニス）の人気の高いことがうかがえます。



※1 トレーニング機器等を使ってする運動、筋トレ等
 ※2 ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、ストレッチ等

(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

- ・ 全体的に、若い世代で割合が高くなっており、20歳代・30歳代は、ほとんどのスポーツにおいて平均よりも高い割合となっています。
- ・ 「テニス、ソフトテニス」、「バドミントン」、「ダンス」は50歳代以下の幅広い世代で選択されており、「ランニング、ウォーキング」、「体操」は30歳代以上の幅広い世代で選択されています。
- ・ 60歳代以上では、「特にない」の割合が高くなっています。

		問2 年齢							無回答 (n=5)	総数 (n=540)
		10歳代 (n=8)	20歳代 (n=48)	30歳代 (n=56)	40歳代 (n=84)	50歳代 (n=86)	60歳代 (n=102)	70歳代以上 (n=151)		
問6 行 っ て み た い ス ポ ー ツ	硬式野球	0.0	2.1	5.4	3.6	0.0	0.0	1.3	0.0	1.7
	軟式野球	0.0	8.3	5.4	8.3	3.5	0.0	0.0	0.0	3.1
	ソフトボール	0.0	8.3	1.8	0.0	1.2	3.9	0.7	0.0	2.0
	マラソン	0.0	0.0	8.9	1.2	7.0	1.0	0.0	0.0	2.4
	ランニング・ウォーキング	0.0	18.8	30.4	35.7	31.4	36.3	23.8	0.0	28.9
	陸上競技	0.0	4.2	3.6	1.2	0.0	1.0	0.0	0.0	1.1
	サッカー	0.0	6.3	3.6	4.8	0.0	1.0	0.7	0.0	2.0
	フットサル	0.0	10.4	3.6	7.1	1.2	0.0	0.0	0.0	2.6
	ラグビー	0.0	2.1	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.4
	ハンドボール	0.0	2.1	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	テニス、ソフトテニス	12.5	25.0	19.6	11.9	14.0	9.8	0.7	0.0	10.6
	水泳	12.5	22.9	23.2	17.9	14.0	6.9	8.6	0.0	13.3
	バスケットボール	37.5	8.3	3.6	2.4	2.3	1.0	0.7	0.0	2.8
	バレーボール	0.0	8.3	8.9	6.0	2.3	0.0	2.0	0.0	3.5
	バドミントン	12.5	25.0	16.1	9.5	9.3	2.9	0.7	0.0	7.8
	卓球	0.0	16.7	5.4	4.8	10.5	2.9	6.0	0.0	6.7
	柔道、剣道、空手、合気道	0.0	2.1	5.4	1.2	1.2	2.9	0.0	20.0	1.9
	弓道	0.0	8.3	1.8	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	1.3
	アーチェリー	0.0	6.3	3.6	0.0	3.5	1.0	2.0	0.0	2.2
	相撲	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.2
	グラウンドゴルフ	0.0	6.3	1.8	4.8	2.3	4.9	6.6	0.0	4.6
	室内運動(トレーニング機器等を使ってする運動、筋トレ等)	12.5	39.6	26.8	35.7	30.2	23.5	18.5	0.0	26.5
	体操(ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、ストレッチ等)	12.5	27.1	32.1	35.7	47.7	34.3	27.2	0.0	33.1
	ダンス	12.5	10.4	8.9	7.1	7.0	3.9	3.3	0.0	5.9
	特にない	0.0	6.3	10.7	14.3	11.6	23.5	31.1	40.0	19.3
	その他	0.0	4.2	7.1	8.3	11.6	8.8	12.6	0.0	9.4
無回答	37.5	2.1	0.0	3.6	2.3	2.9	6.6	40.0	4.4	

(%)

(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

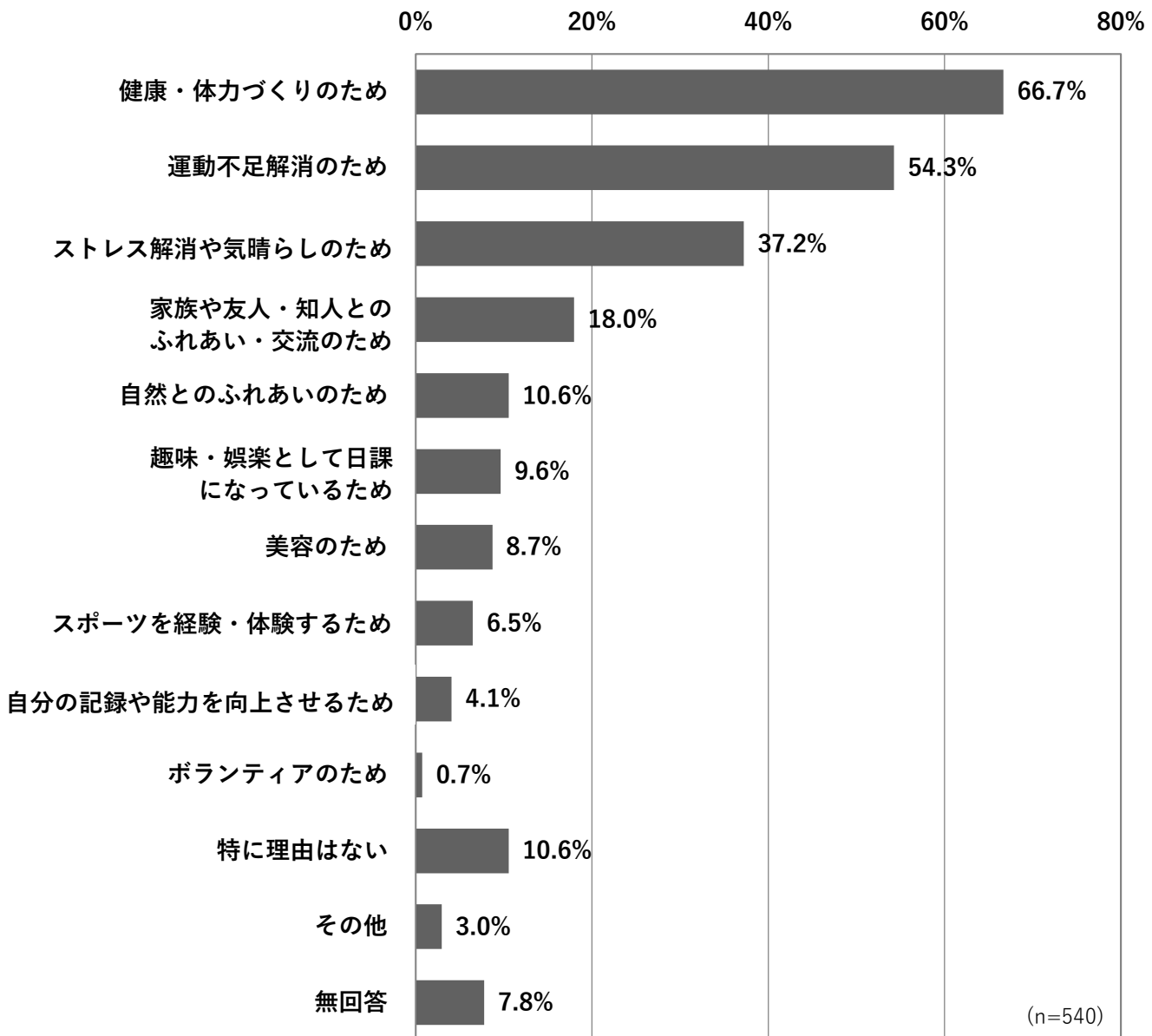
- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人はほとんどのスポーツのニーズが高くなっていますが、実施頻度が低い人はテニス、ソフトテニス、陸上競技等のニーズが高くなっています。

		問5 スポーツを行う頻度			
		月1・2回程度以上 (n=312)	ほとんど1・2回程度以下 (n=225)	無回答 (n=3)	総数 (n=540)
問6 行 っ て み た い ス ポ ー ツ	硬式野球	2.2	0.9	0.0	1.7
	軟式野球	3.8	2.2	0.0	3.1
	ソフトボール	2.9	0.9	0.0	2.0
	マラソン	2.9	1.8	0.0	2.4
	ランニング・ウォーキング	37.8	16.9	0.0	28.9
	陸上競技	0.3	2.2	0.0	1.1
	サッカー	2.2	1.8	0.0	2.0
	フットサル	2.6	2.7	0.0	2.6
	ラグビー	0.6	0.0	0.0	0.4
	ハンドボール	1.0	0.0	0.0	0.6
	テニス、ソフトテニス	10.3	11.1	0.0	10.6
	水泳	16.3	9.3	0.0	13.3
	バスケットボール	3.2	2.2	0.0	2.8
	バレーボール	4.5	2.2	0.0	3.5
	バドミントン	8.0	7.6	0.0	7.8
	卓球	8.3	4.4	0.0	6.7
	柔道、剣道、空手、合気道	2.6	0.9	0.0	1.9
	弓道	1.3	1.3	0.0	1.3
	アーチェリー	2.2	2.2	0.0	2.2
	相撲	0.3	0.0	0.0	0.2
	グラウンドゴルフ	4.8	4.4	0.0	4.6
	室内運動(トレーニング機器等を使ってする運動、筋トレ等)	29.2	23.1	0.0	26.5
	体操(ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、ストレッチ等)	35.3	30.7	0.0	33.1
	ダンス	6.4	5.3	0.0	5.9
	特にない	11.2	30.2	33.3	19.3
	その他	9.6	9.3	0.0	9.4
	無回答	5.4	2.2	66.7	4.4

(%)

(理由)《あてはまるものすべて》

- ・ スポーツを実施する理由については、「健康・体力づくりのため」が 66.7%と最も多く、次いで「運動不足解消のため」が 54.3%、「ストレス解消や気晴らしのため」が 37.2%となっています。
- ・ 「スポーツを経験・体験するため」や「自己の記録や能力を向上させるため」など経験や競技のためにスポーツを実施する人も一定数いますが、多くの方が、健康づくりや運動不足解消、ストレス解消や気晴らしなど心身の健康のためにスポーツを実施していることがうかがえます。



(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

- ・ 若い世代では、「家族や友人・知人とのふれあい・交流のため」「趣味・娯楽として日課になっているため」等の割合が高くなっており、気分転換や新たなスポーツへのチャレンジ、スポーツを通じた自己研鑽、コミュニティづくり等のためスポーツを実施していることがうかがえます。
- ・ 一方で、年齢の高い年代では、「健康・体力づくりのため」、「自然とのふれあいのため」等の割合が高くなっています。

		問2 年齢							無回答 (n=5)	総数 (n=540)
		10 歳代 (n=8)	20 歳代 (n=48)	30 歳代 (n=56)	40 歳代 (n=84)	50 歳代 (n=86)	60 歳代 (n=102)	70 歳代 以上 (n=151)		
問 6 ス ポ ー ツ を 行 い た い 理 由	健康・体力づくりのため	37.5	75.0	62.5	70.2	76.7	72.5	57.6	0.0	66.7
	ストレス解消や気晴らしのため	25.0	50.0	51.8	47.6	47.7	23.5	27.2	0.0	37.2
	スポーツを経験・体験するため	0.0	25.0	16.1	7.1	3.5	2.0	2.0	0.0	6.5
	運動不足解消のため	37.5	58.3	46.4	59.5	62.8	52.9	51.7	0.0	54.3
	自己の記録や能力を向上させるため	12.5	8.3	5.4	6.0	2.3	4.9	1.3	0.0	4.1
	家族や友人・知人とのふれあい・交流のため	25.0	22.9	19.6	20.2	17.4	16.7	15.9	0.0	18.0
	ボランティアのため	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	1.3	0.0	0.7
	美容のため	0.0	22.9	19.6	11.9	12.8	3.9	0.0	0.0	8.7
	自然とのふれあいのため	0.0	0.0	5.4	7.1	7.0	13.7	18.5	0.0	10.6
	趣味・娯楽として日課になっているため	12.5	20.8	8.9	9.5	9.3	8.8	7.3	0.0	9.6
	特に理由はない	0.0	6.3	7.1	14.3	3.5	11.8	13.9	40.0	10.6
	その他	0.0	2.1	3.6	2.4	3.5	2.0	4.0	0.0	3.0
	無回答	25.0	2.1	3.6	3.6	5.8	6.9	12.6	60.0	7.8

(%)

(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人は、ほとんどの項目で実施頻度の低い人を上回っており、様々な目的でスポーツを行っている人が多いことがうかがえる。
- ・ 一方、スポーツの実施頻度が低い人は、「特に理由はない」等の項目で回答率が高くなっており、目的性が低い状態でスポーツに取り組んでいる傾向がみられます。

		問5 スポーツを行う頻度			総数 (n=540)
		月1・2 回程度以上 (n=312)	ほとんど1 回程度以下 (n=225)	無回答 (n=3)	
問6 スポーツを行 いたい理由	健康・体力づくりのため	78.5	51.1	0.0	66.7
	ストレス解消や気晴らしのため	41.0	32.4	0.0	37.2
	スポーツを経験・体験するため	8.0	4.4	0.0	6.5
	運動不足解消のため	64.1	41.3	0.0	54.3
	自己の記録や能力を向上させるため	6.1	1.3	0.0	4.1
	家族や友人・知人とのふれあい・交流のため	22.4	12.0	0.0	18.0
	ボランティアのため	1.0	0.4	0.0	0.7
	美容のため	8.0	9.8	0.0	8.7
	自然とのふれあいのため	15.4	4.0	0.0	10.6
	趣味・娯楽として日課になっているため	15.1	2.2	0.0	9.6
	特に理由はない	4.8	18.2	33.3	10.6
	その他	1.6	4.9	0.0	3.0
	無回答	5.4	2.2	66.7	4.4

(%)

(参考) 施設利用の有無

※問 5-1 (公共スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

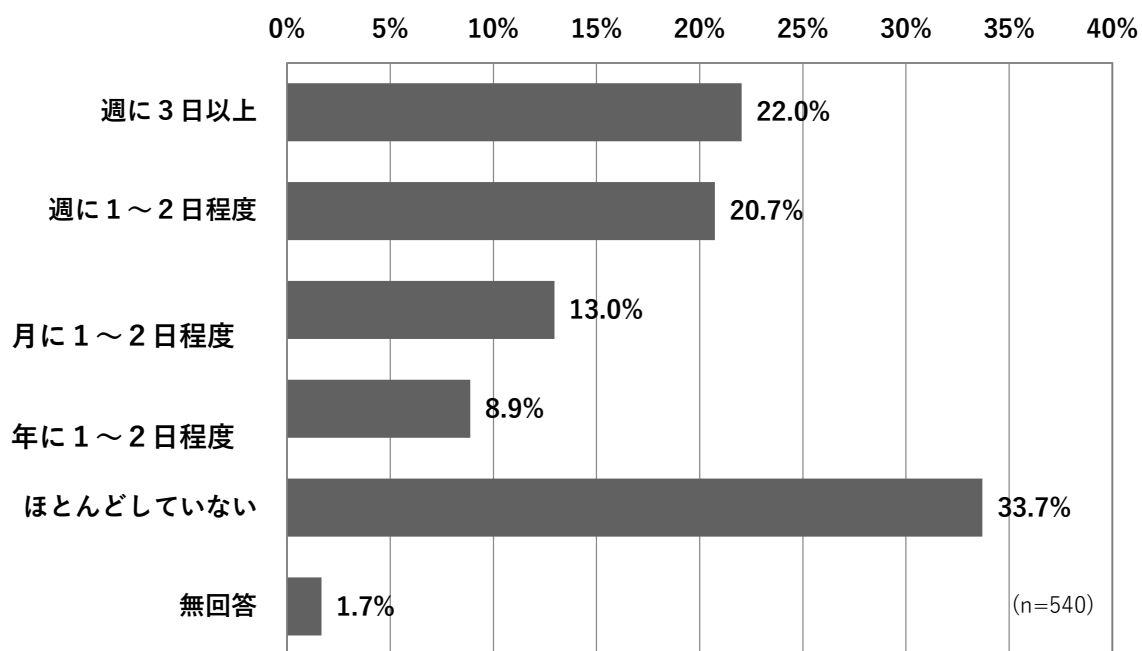
- 公共スポーツ施設を利用したことがある人は、家族や友人・知人とのふれあい・交流のため、趣味・娯楽として日課になっているため、スポーツを経験・体験するため等の回答率が高くなっており、スポーツ施設は、スポーツを通じたコミュニティの形成、市民のいきがづくり、スポーツ体験等に役立っていると考えられます。

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問 6 ス ポ ー ツ を 行 い た い 理 由	健康・体力づくりのため	78.1	79.1	78.5
	ストレス解消や気晴らしのため	41.0	41.1	41.0
	スポーツを経験・体験するため	12.0	2.3	8.0
	運動不足解消のため	62.8	65.9	64.1
	自己の記録や能力を向上させるため	9.3	1.6	6.1
	家族や友人・知人とのふれあい・交流のため	29.5	12.4	22.4
	ボランティアのため	1.6	0.0	1.0
	美容のため	7.1	9.3	8.0
	自然とのふれあいのため	12.0	20.2	15.4
	趣味・娯楽として日課になっているため	19.1	9.3	15.1
	特に理由はない	3.8	6.2	4.8
	その他	1.6	1.6	1.6
	無回答	7.1	3.1	5.4

(%)

問7 あなたは日頃、どれくらいの頻度でスポーツを観戦・応援しますか。※テレビやインターネットでの観戦・応援も含まます《○1つ》

- ・ 日頃のスポーツの観戦・応援頻度については、「ほとんどしていない」が33.7%と最も多くなっていますが、次いで「週に3日以上」が22.0%、「週に1～2日程度」が20.7%、「月に1～2日程度」は13.0%となっており、月に1日以上スポーツを観戦・応援している人は55.7%となります。
- ・ 5割以上の方が、日頃からスポーツを観戦・応援し、“みる”スポーツに親しんでいるといえます。



(参考) 施設利用の有無

※問5-1 (公共スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

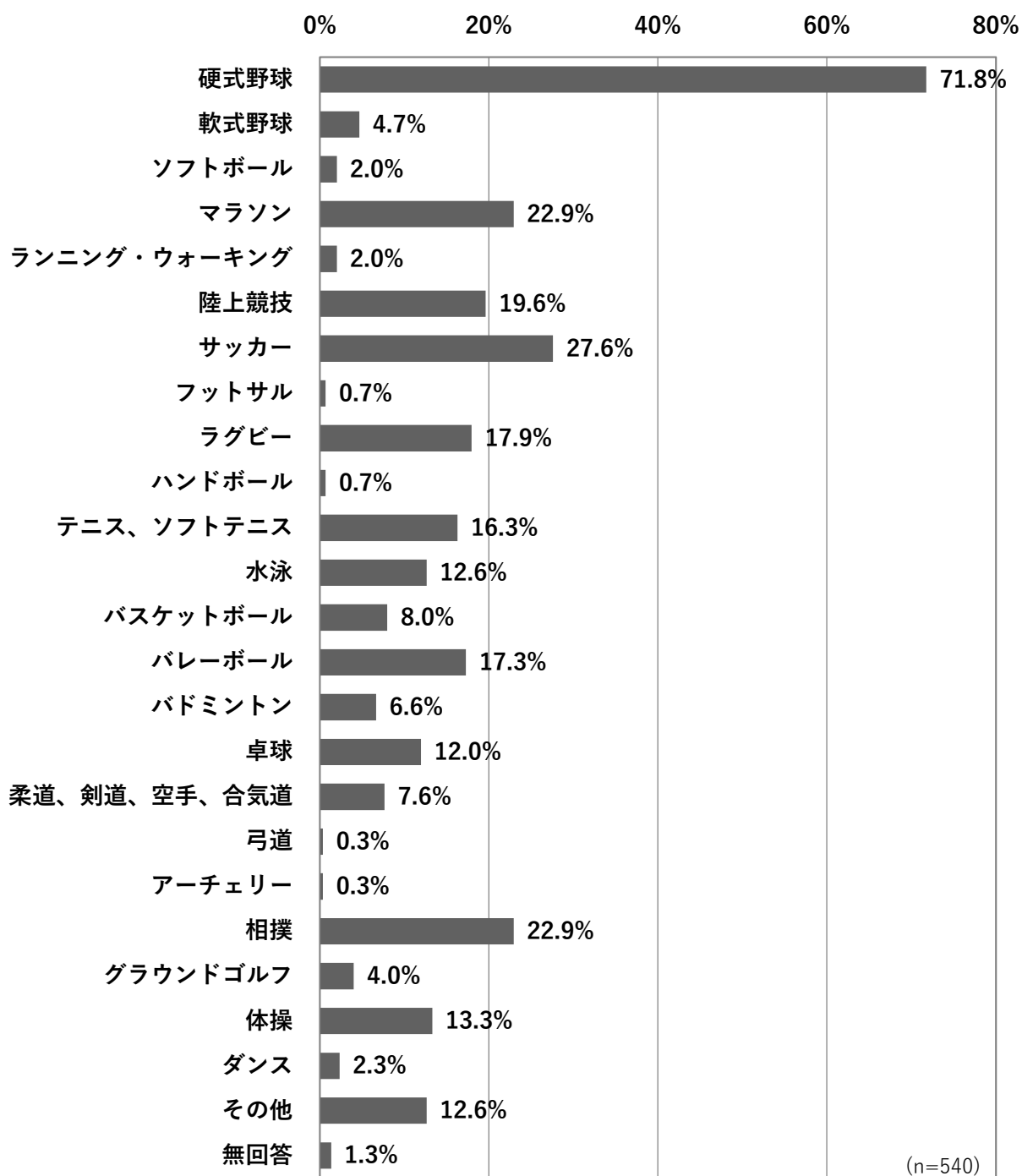
- ・ スポーツ施設を利用したことがある人の方がスポーツ観戦の頻度が高い傾向がみられます。

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問7 スポーツ観戦する頻度	週に3日以上	26.8	24.0	25.6
	週に1～2日程度	26.8	25.6	26.3
	月に1～2日程度	14.2	14.7	14.4
	年に1～2日程度	9.3	10.9	9.9
	ほとんどしていない	21.3	24.0	22.4
	無回答	1.6	0.8	1.3

(%)

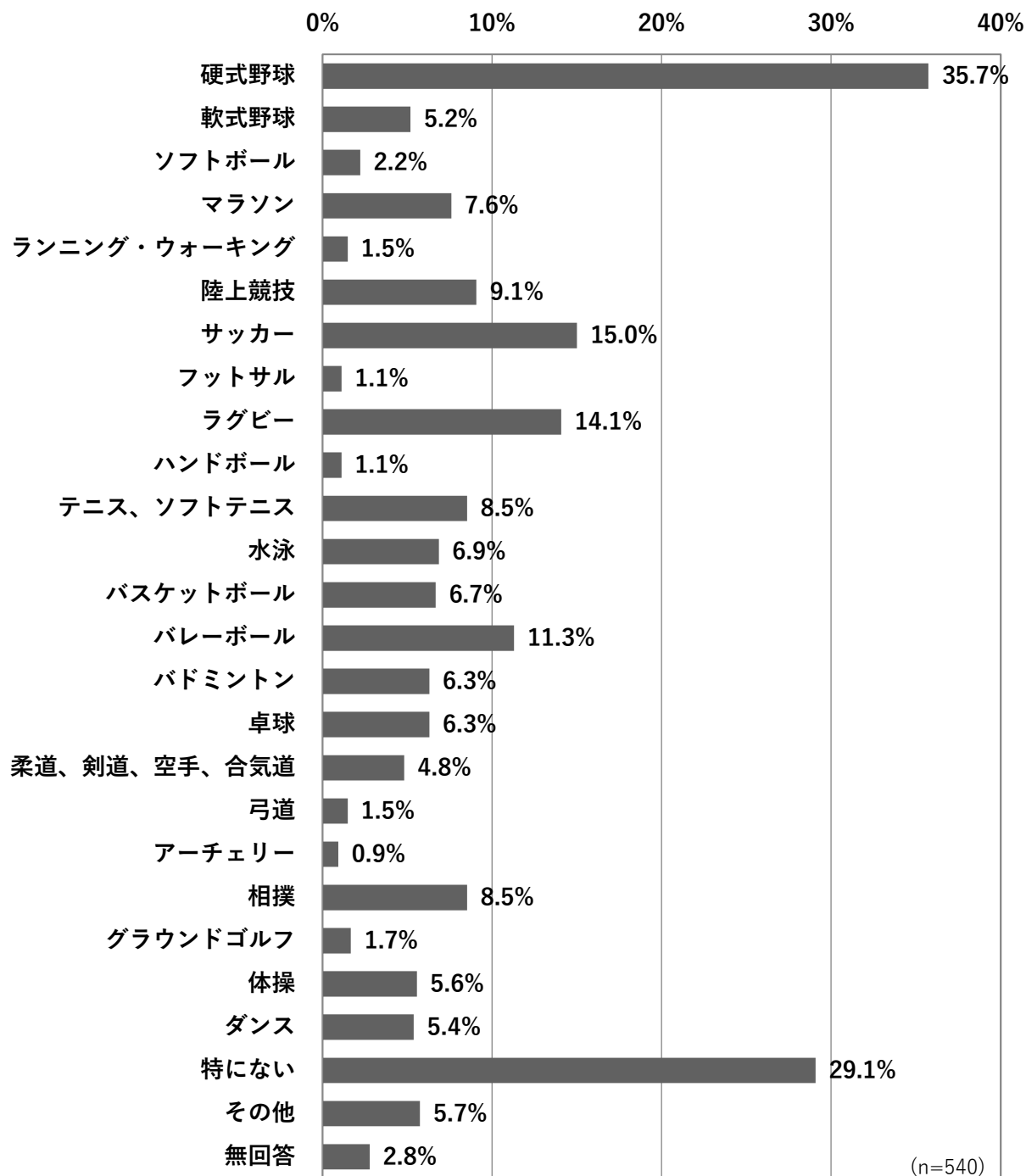
問 7-1 問 7 で、「1. 週に3日以上」「2. 週に1～2日程度」「3. 月に1～2日程度」とお答えの方におたずねします。どのようなスポーツを観戦・応援しますか。《あてはまるものすべて》

- ・ 観戦・応援するスポーツの種類については、「硬式野球」が 71.8%と最も多く、次いで「サッカー」が 27.6%、「マラソン」と「相撲」が 22.9%となっています。
- ・ 年間を通じてプロリーグや全国的・国際的な大会等が多く開催され、テレビで放送されることが多いスポーツの割合が高くなっているといえます。
- ・ 一方、陸上競技、ラグビー、バレーボール、テニス、ソフトテニス、体操、水泳、卓球についても 10～20%程度の割合となっており、多様なスポーツが観戦・応援を通じて親しまれていることがうかがえます。



問 8 現在応援・観戦しているものを含めて、今後、現地で直接、応援・観戦してみたいスポーツはどのようなスポーツですか。《あてはまるものすべて》

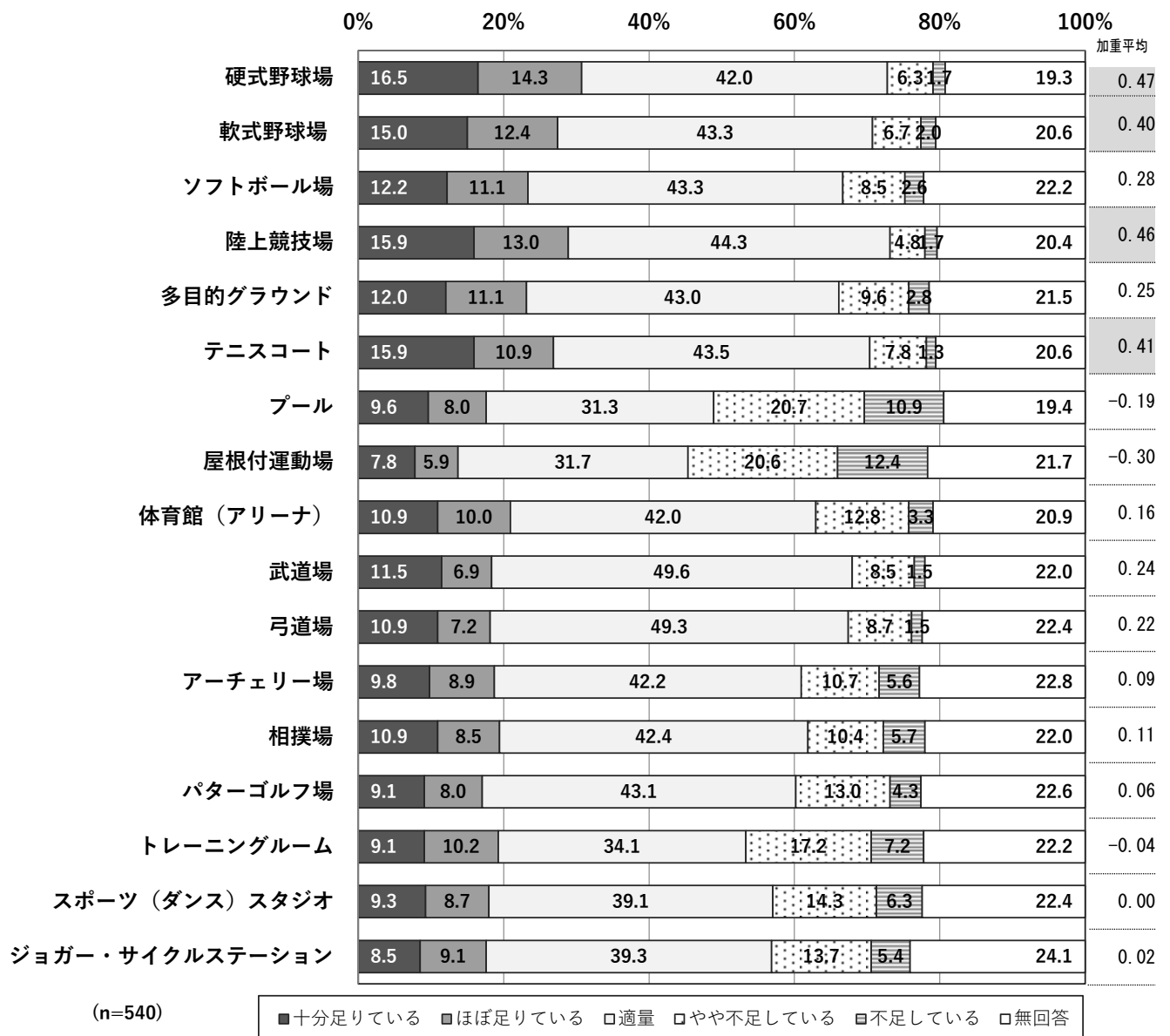
- ・ 現地で直接観戦・応援したいスポーツの種類については、「硬式野球」が 35.7%と最も多く、次いで「特にない」が 29.1%、「サッカー」が 15.0%、「ラグビー」が 14.1%、「バレーボール」が 11.3%となっています。
- ・ テレビやインターネットでの観戦・応援状況を含む問 7 の回答と比べると、「ラグビー」や「バレーボール」が上位に入っています。



3 スポーツ施設について、あなたのお考えをお聞かせください。

問9 市内にある公共のスポーツ施設の充実度をどのように思いますか。《各施設〇1つ》

- ・ スポーツ施設の充実度については、ほとんどの施設で充実していると思う人（「十分足りている」「ほぼ足りている」「適量」の合計）が半数を超えています。
- ・ 加重平均を見ると、特に、「硬式野球場」、「陸上競技場」、「テニスコート」、「軟式野球場」の充実度が高くなっています。
- ・ 一方、「屋根付運動場」と「プール」については充実していると思う人が過半を下回っており、一部施設で充実度が低い結果が出ています。



※加重平均

各設問の十分足りている (+2) ほぼ足りている (+1) 適量 (0) やや不足している (-1) 不足している (-2) の合計点数を回答数で割ったもので、数値が大きいほど充実度が高くなる

問 10 問 9 に記載の施設以外に不足していると思うスポーツ施設や機能はありますか。《自由記述》

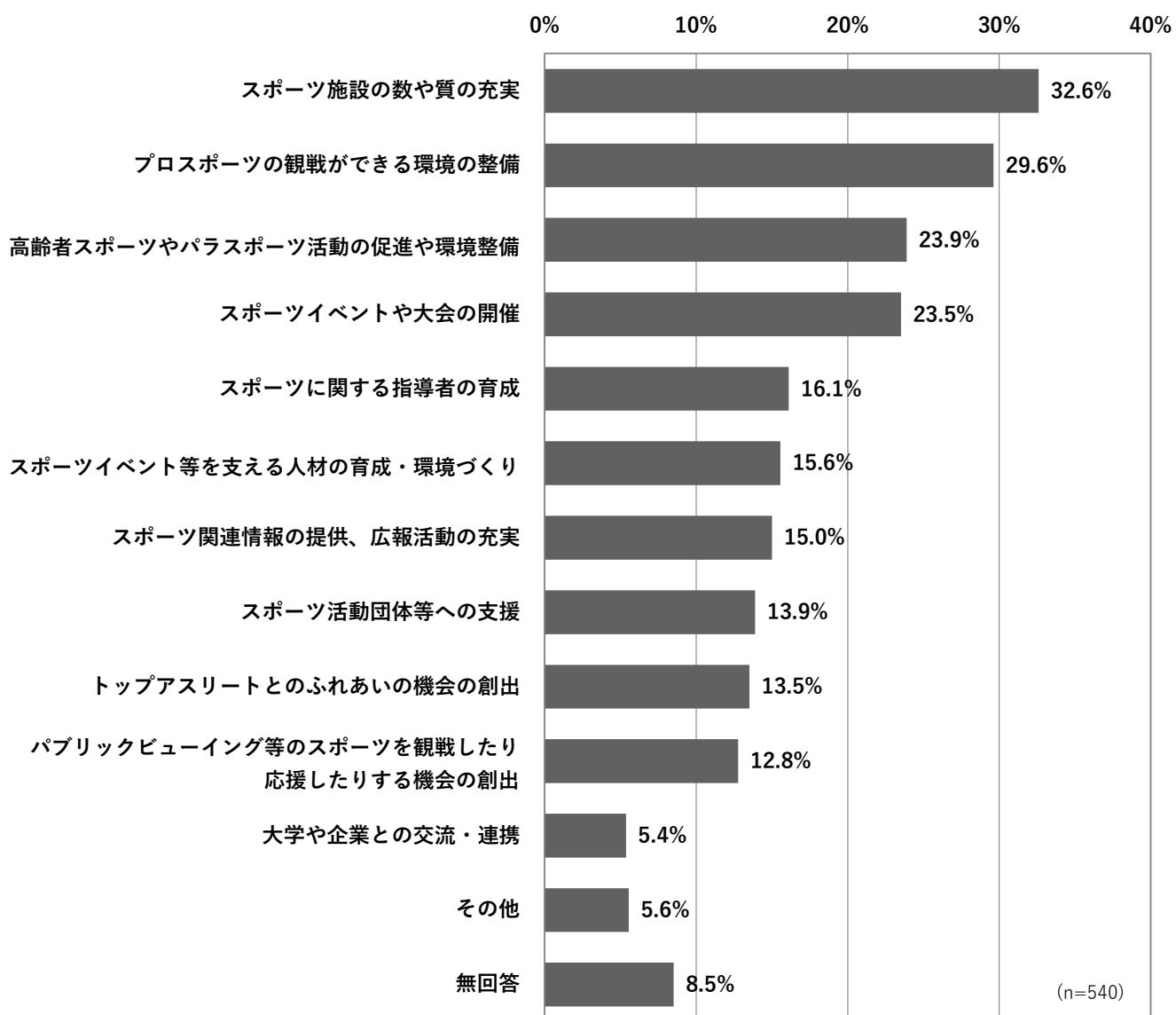
- ・ 回答数 540 件のうち、自由記述への記入件数は 98 件で、内訳は以下のとおりです。

意見の分類	件数
プール	16 件
スポーツジム・トレーニングジム	9 件
ストリートスポーツパーク(インラインスケート・スケートボード)	6 件
小児・児童用施設	6 件
公園	6 件
施設整備・機能	6 件
体育館	5 件
クライミング・ボルダリング	5 件
だれでも利用できる施設	4 件
アイススケート	3 件
サッカー・フットサル	3 件
武道	3 件
ゴルフ	3 件
サイクリング	2 件
グラウンド・ゴルフ	2 件
その他	19 件

4 今後のスポーツ施設のあり方について、あなたのお考えをお聞かせください。

問 11 今後のスポーツの活性化に必要なだと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください《○3つまで》

- ・ スポーツの活性化に必要なことについては、「スポーツ施設の数や質の充実」が 32.6%と最も多く、次いで「プロスポーツの観戦ができる環境の整備」が 29.6%、「高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備」が 23.9%、「スポーツイベントや大会の開催」が 23.5%となっています。
- ・ スポーツを“する”だけでなく、“みる”環境・機会が求められるとともに、高齢者や障害者を含めて誰もが身近にスポーツに触れることができる環境が求められているといえます。



(参考) 年齢層別

※問2 (年齢) のクロス集計

- ・ 若い世代では、「スポーツ施設の数や質の充実」、「スポーツイベントや大会の開催」等の割合が高くなっており、施設や大会等のスポーツを行う場や触れる機会が必要と考えているといえます。
- ・ 一方で、年齢の高い世代では、「スポーツに関する指導者の育成」、「高齢者スポーツやパラスポーツの活動の促進や環境整備」、「スポーツ関連情報の提供、広報活動の充実」等の割合が高くなっており、人材や情報等のソフト面での支援や機運醸成が必要と考えているといえます。

		問2 年齢							無回答 (n=5)	総数 (n=540)
		10 歳代 (n=8)	20 歳代 (n=48)	30 歳代 (n=56)	40 歳代 (n=84)	50 歳代 (n=86)	60 歳代 (n=102)	70 歳代 以上 (n=151)		
問 1 1 今 後 の ス ポ ー ツ 活 性 化 に 必 要 な も の	スポーツ施設の数や質の充実	50.0	43.8	44.6	35.7	27.9	30.4	27.2	0.0	32.6
	スポーツイベントや大会の開催	50.0	37.5	28.6	29.8	25.6	18.6	15.2	0.0	23.5
	スポーツ活動団体等への支援	25.0	18.8	12.5	11.9	11.6	11.8	15.9	20.0	13.9
	プロスポーツの観戦ができる環境の整備	37.5	22.9	28.6	38.1	33.7	26.5	27.2	20.0	29.6
	トップアスリートとのふれあいの機会の創出	0.0	16.7	25.0	20.2	8.1	13.7	8.6	0.0	13.5
	スポーツに関する指導者の育成	12.5	8.3	14.3	16.7	20.9	16.7	16.6	0.0	16.1
	スポーツイベント等を支える人材の育成・環境づくり	0.0	10.4	19.6	15.5	19.8	17.6	13.2	0.0	15.6
	高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備	25.0	6.3	7.1	14.3	17.4	34.3	38.4	0.0	23.9
	スポーツ関連情報の提供、広報活動の充実	12.5	20.8	7.1	14.3	15.1	16.7	15.2	20.0	15.0
	大学や企業との交流・連携	12.5	22.9	7.1	2.4	4.7	4.9	1.3	0.0	5.4
	パブリックビューイング等のスポーツを観戦したり応援したりする機会の創出	12.5	20.8	28.6	13.1	11.6	9.8	7.3	0.0	12.8
	その他	12.5	4.2	7.1	7.1	8.1	4.9	3.3	0.0	5.6
無回答	0.0	0.0	1.8	6.0	3.5	8.8	17.2	40.0	8.5	

(%)

(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人は、「スポーツ施設の数や質の充実」、「高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備」等を望む人が多くなっています。

		問5 スポーツを行う頻度			
		月 1 ・ 2 回 程 度 以 上	ほ 年 と 1 人 ど 2 回 程 度 以 下	無 回 答	総 数
		(n=312)	(n=225)	(n=3)	(n=540)
問 1 1 今 後 の ス ポ ー ツ の 活 性 化 に 必 要 な も の	スポーツ施設の数や質の充実	38.8	24.4	0.0	32.6
	スポーツイベントや大会の開催	26.0	20.0	33.3	23.5
	スポーツ活動団体等への支援	14.1	13.8	0.0	13.9
	プロスポーツの観戦ができる環境の整備	29.2	30.2	33.3	29.6
	トップアスリートとのふれあいの機会の創出	14.7	12.0	0.0	13.5
	スポーツに関する指導者の育成	15.7	16.9	0.0	16.1
	スポーツイベント等を支える人材の育成・環境づくり	14.1	17.3	33.3	15.6
	高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備	28.2	18.2	0.0	23.9
	スポーツ関連情報の提供、広報活動の充実	15.4	14.7	0.0	15.0
	大学や企業との交流・連携	5.4	5.3	0.0	5.4
	パブリックビューイング等のスポーツを観戦したり応援したりする機会の創出	13.8	11.6	0.0	12.8
	その他	4.2	7.6	0.0	5.6
無回答	7.1	9.8	66.7	8.5	

(%)

(参考) 施設利用の有無

※問 5-1 (スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

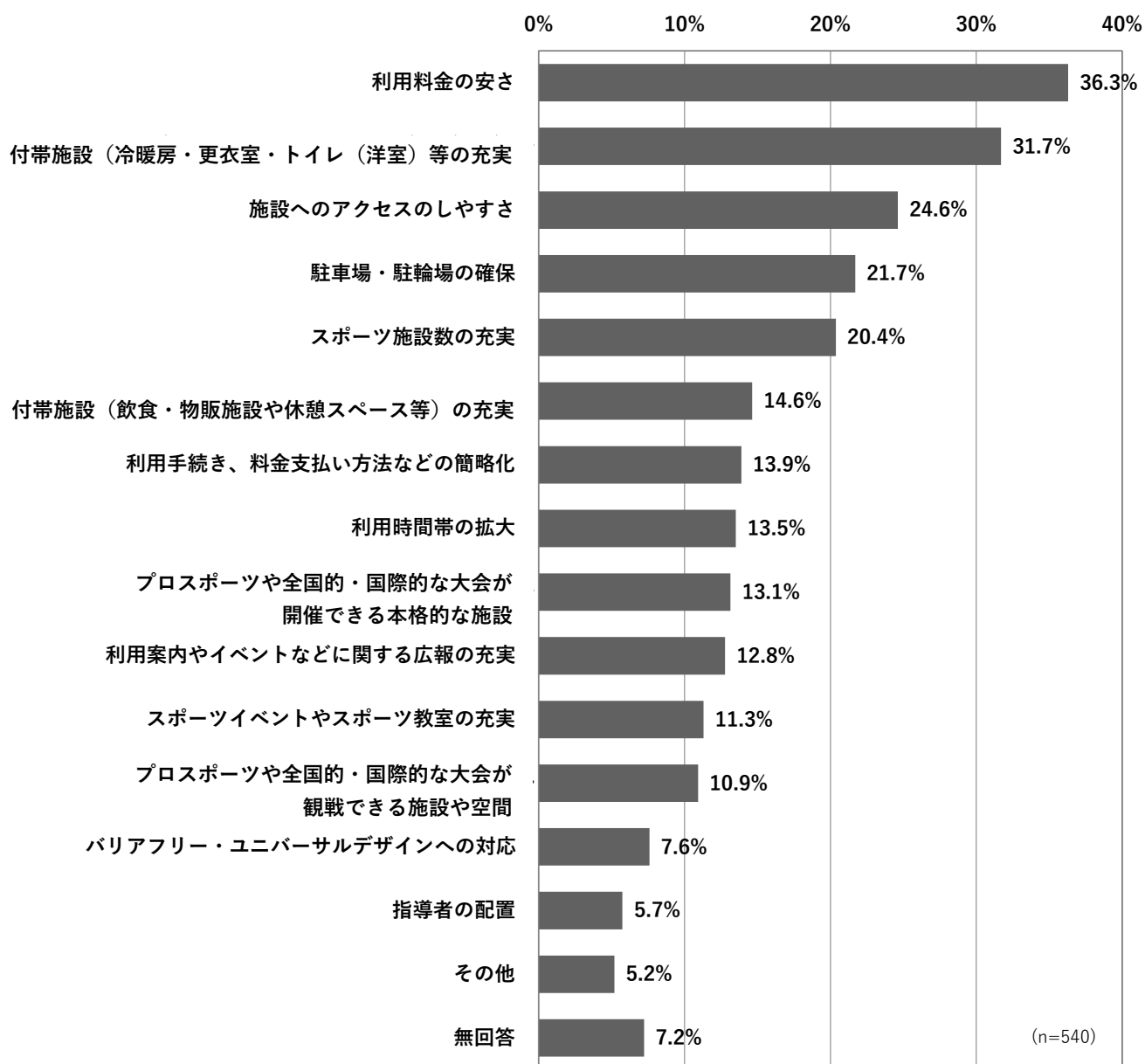
- ・ スポーツ施設を利用したことがある人の方が、スポーツ施設の数や質の充実を望んでいる人が多いことがうかがえます。

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問 1 1 今 後 の ス ポ ー ツ の 活 性 化 に 必 要 な も の	スポーツ施設の数や質の充実	46.4	27.9	38.8
	スポーツイベントや大会の開催	27.9	23.3	26.0
	スポーツ活動団体等への支援	18.0	8.5	14.1
	プロスポーツの観戦ができる環境の整備	26.2	33.3	29.2
	トップアスリートとのふれあいの機会の創出	12.0	18.6	14.7
	スポーツに関する指導者の育成	16.9	14.0	15.7
	スポーツイベント等を支える人材の育成・環境づくり	14.2	14.0	14.1
	高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備	27.3	29.5	28.2
	スポーツ関連情報の提供、広報活動の充実	10.4	22.5	15.4
	大学や企業との交流・連携	7.1	3.1	5.4
	パブリックビューイング等のスポーツを観戦したり応援したりする機会の創出	11.5	17.1	13.8
	その他	4.9	3.1	4.2
	無回答	7.7	6.2	7.1

(%)

問 12 今後のスポーツ施設にとって、重要だと思うものを教えてください。※お考えに最も近いものを選択してください《○3つまで》

- ・ スポーツ施設にとって重要なことについては、「利用料金の安さ」が 36.3%と最も多く、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋室）等）の充実」が 31.7%、「施設へのアクセスのしやすさ」が 24.6%、「駐車場・駐輪場の確保」が 21.7%、「スポーツ施設数の充実」が 20.4% となっています。
- ・ スポーツ施設を気軽に利用できるよう質の向上や、施設までの移動のしやすさ・便利さが上位に入っています。



(%)

(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

- ・ 比較的スポーツの実施頻度が高い人は、多岐に渡り、スポーツ施設にとって重要なものをあげています。特に、「スポーツ施設数の充実」、「利用料金の安さ」、「施設へのアクセスのしやすさ」等を望む人が多くなっています。

		問5 スポーツを行う頻度			
		月 1 ・ 2 回 程 度 以 上	ほ 年 と 1 人 ・ ど し 回 程 度 以 下	無 回 答	総 数
		(n=312)	(n=225)	(n=3)	(n=540)
問 1 2 今 後 の ス ポ ー ツ 施 設 に と つ て 重 要 な も の	スポーツ施設数の充実	23.7	16.0	0.0	20.4
	付帯機能（飲食・物販施設や休憩スペース等）の充実	15.1	13.8	33.3	14.6
	付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋式）等）の充実	30.8	32.9	33.3	31.7
	利用時間帯の拡大	13.1	14.2	0.0	13.5
	利用料金の安さ	38.5	33.8	0.0	36.3
	施設へのアクセスのしやすさ	27.2	21.3	0.0	24.6
	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	15.7	11.6	0.0	13.9
	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	12.8	9.3	0.0	11.3
	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	15.1	10.7	0.0	13.1
	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	11.9	9.8	0.0	10.9
	駐車場・駐輪場の確保	20.8	22.7	33.3	21.7
	指導者の配置	5.8	5.8	0.0	5.7
	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	5.4	10.7	0.0	7.6
	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	12.8	12.9	0.0	12.8
	その他	4.8	5.8	0.0	5.2
無回答	4.5	10.2	66.7	7.2	

(%)

(参考) 施設利用の有無

※問 5-1 (スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

- ・ スポーツ施設を利用したことがある人の方が、スポーツ施設の数や質、付帯設備の充実や施設へのアクセスのしやすさ等について、重要と考える人が多くなっています。
- ・ 利用したことがない人からは、利用時間帯の拡大が重要と考える人が多くなっています。

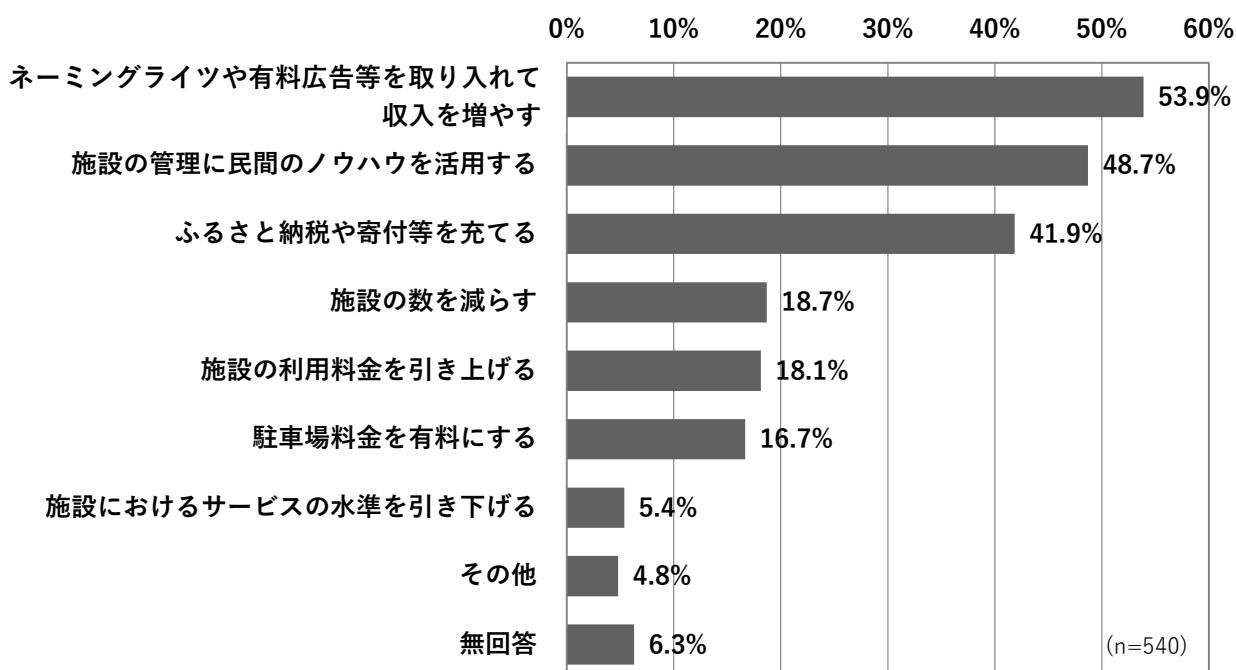
		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問 1 2 今 後 の ス ポ ー ツ 施 設 に と つ て 重 要 な も の	スポーツ施設数の充実	24.6	22.5	23.7
	付帯機能(飲食・物販施設や休憩スペース等)の充実	15.8	14.0	15.1
	付帯設備(冷暖房・更衣室・トイレ(洋式)等)の充実	35.0	24.8	30.8
	利用時間帯の拡大	10.4	17.1	13.1
	利用料金の安さ	38.3	38.8	38.5
	施設へのアクセスのしやすさ	29.5	24.0	27.2
	利用手続き、料金支払い方法などの簡略化	14.2	17.8	15.7
	スポーツイベントやスポーツ教室の充実	10.9	15.5	12.8
	プロスポーツや全国的・国際的な大会が開催できる本格的な施設	13.1	17.8	15.1
	プロスポーツや全国的・国際的な大会が観戦できる施設や空間	9.8	14.7	11.9
	駐車場・駐輪場の確保	20.8	20.9	20.8
	指導者の配置	6.6	4.7	5.8
	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	4.9	6.2	5.4
	利用案内やイベントなどに関する広報の充実	10.9	15.5	12.8
	その他	6.6	2.3	4.8
	無回答	4.9	3.9	4.5

(%)

問 13 いまあるスポーツ施設を維持し続けるには、施設の修繕や建替え等の費用が必要になりますが、人口減少や厳しい財政状況の中では、修繕や建替え等の費用を確保することが困難となることが想定されます。この場合の維持管理等の費用を減らす取組について、お考えを教えてください。

①スポーツ施設の維持管理を続けていくために、どのような取組が効果的だと思いますか。※お考えに近いものを選択してください《〇3つまで》

- ・ スポーツ施設を維持管理するための取組については、「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が53.9%と最も多く、次いで「施設の管理に民間のノウハウを活用する」が48.7%、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が41.9%となっており、施設利用者以外から何らかの方法により収益を確保したり、施設管理を効率化することで、維持管理を続けていくと考えている人が多くなっています。



(参考) スポーツを行う頻度

※問5 (スポーツを行う頻度) のクロス集計

- 比較的スポーツの実施頻度が高い人は、とりわけ「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」、「施設の管理に民間のノウハウを活用する」等、民間事業者と連携した取組が効果的と考える人が多くなっています。

		問5 スポーツを行う頻度			総数 (n=540)
		月 1 ・ 2 回 程 度 以 上	ほ 年 と 1 人 ・ ど 2 回 程 度 以 下	無 回 答	
		(n=312)	(n=225)	(n=3)	
問 1 3 ① ス ポ ー ツ 施 設 を 維 持 管 理 し 続 け る た め に 効 果 的 な 取 組	施設の数減らす	17.9	20.0	0.0	18.7
	施設の利用料金を引き上げる	18.9	17.3	0.0	18.1
	施設におけるサービスの水準を引き下げる	5.8	4.9	0.0	5.4
	施設の管理に民間のノウハウを活用する	50.6	46.2	33.3	48.7
	駐車場料金を有料にする	17.3	16.0	0.0	16.7
	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	59.0	47.6	0.0	53.9
	ふるさと納税や寄付等を充てる	43.9	39.1	33.3	41.9
	その他	5.1	4.4	0.0	4.8
	無回答	4.5	8.0	66.7	6.3
総数		100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

(参考) 施設利用の有無

※問 5-1 (スポーツ施設の利用の有無) のクロス集計

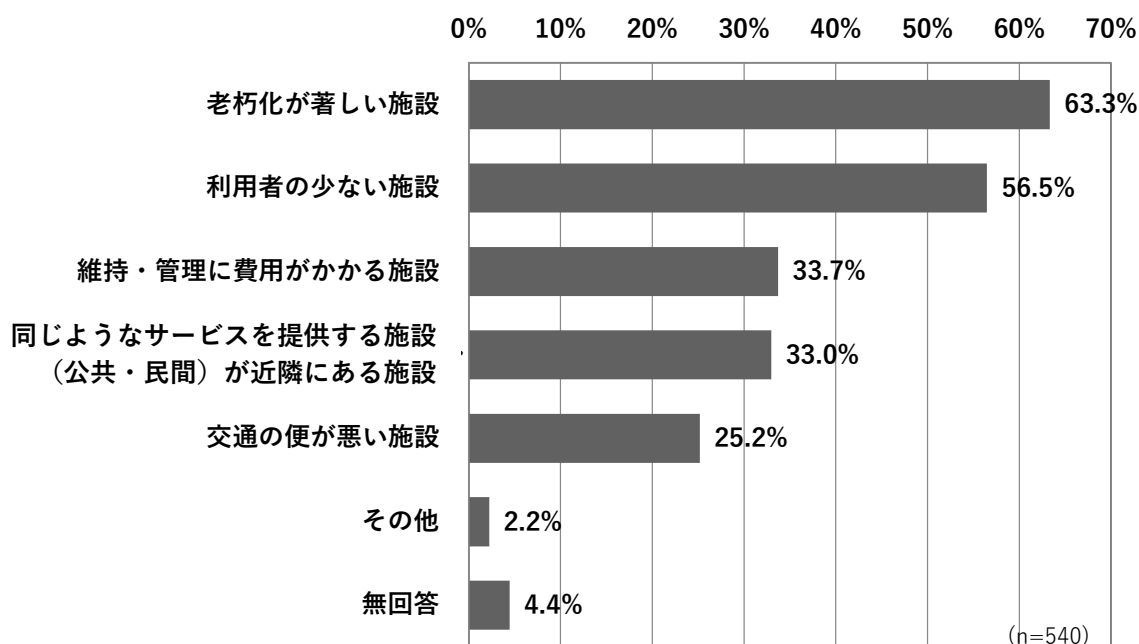
- ・ スポーツ施設を利用したことがある人は、施設の管理に民間のノウハウ活用やネーミングライツ等による収入増、ふるさと納税や寄付等の充当が維持管理に効果的と回答する傾向がみられる一方、利用したことがない人は施設数を減らすことが効果的と考えている人が多くなっています。

		問5-1 スポーツ施設利用の有無		
		利用したことがある (n=183)	利用したことがない (n=129)	総数 (n=312)
問 1 3 ① ス ポ ー ツ 施 設 を 維 持 管 理 し 続 け る た め に 効 果 的 な 取 組	施設の数減らす	15.8	20.9	17.9
	施設の利用料金を引き上げる	18.6	19.4	18.9
	施設におけるサービスの水準を引き下げる	5.5	6.2	5.8
	施設の管理に民間のノウハウを活用する	54.1	45.7	50.6
	駐車場料金を有料にする	16.4	18.6	17.3
	ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	60.7	56.6	59.0
	ふるさと納税や寄付等を充てる	45.9	41.1	43.9
	その他	6.0	3.9	5.1
	無回答	4.9	3.9	4.5

(%)

②将来、スポーツ施設の数減らすことが必要になった場合、どのような施設を減らしていくべきだと思いますか。※お考えに近いものを選択してください《○3つまで》

- ・ スポーツ施設の数減らす場合の対応については、「老朽化が著しい施設」が 63.3%と最も多く、次いで「利用者の少ない施設」が 56.5%、「維持・管理に費用がかかる施設」が 33.7%、「同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設」が 33.0%となっています。
- ・ 施設の老朽化、利用状況、維持管理費用等の施設概要に加え、周辺の同種施設立地状況等も踏まえ、スポーツ施設のあり方を考える必要があるといえます。



問 14 スポーツ施設のあり方（管理・運営・整備の手法など）について、ご意見やアイデアがありましたら自由にお書きください。《自由記述》

- ・ 回答数 540 件のうち、自由記述への記入件数は 154 件で、内訳は以下のとおりです。

意見の分類	件数
維持管理・運営・スタッフに関する意見	32 件
民間委託に関する意見	16 件
施設設備に関する意見	13 件
スポーツ施設に関する意見	12 件
高齢者対応に関する意見	11 件
集客・イベント・広報に関する意見	11 件
アンケートに関する意見	11 件
予約に関する意見	9 件
施設統廃合に関する意見	8 件
利用方法に関する意見	7 件
交通アクセスに関する意見	6 件
プールに関する意見	5 件
プロスポーツ誘致に関する意見	3 件
その他	10 件

3 総括

1. 回答者属性

- ・性別については、「女性」からの回答がやや多くなっています。
- ・年齢については、60歳以上が約半数を占めています。
- ・居住地については、「畝傍地区」「耳成地区」「真菅地区」がそれぞれ2割前後となっています。
- ・職業については、「会社員・会社役員」が3割弱を占め最も高くなっていますが、「無職」「専業主婦・主夫」「パート・アルバイト」も2割前後を占めています。

2. スポーツの取組について

- ・日頃のスポーツの実施頻度については、「ほとんどしていない」が4割近くと最も多くなっていますが、一方で、約6割の方は月に1日以上スポーツを実施しており、一定の割合でスポーツの実施を習慣化しているといえます。
- ・スポーツの実施を習慣化している方のうち約半数は、スポーツを実施する際、「施設を使用していない」と回答しています。スポーツ施設を使用する方は、体育館や多目的グラウンド等の自由度の高い施設やトレーニングルームやスポーツスタジオ等のトレーニングや軽運動ができる屋内施設を多く利用しています。
- ・今後行ってみたいスポーツについては、身近な環境の中で気軽に楽しむことができるスポーツのほか、幅広い世代が楽しむことができるスポーツの人気の高いことがうかがえます。また、これらのスポーツを実施するために、軽運動が可能な室内施設（体操・室内運動・ダンスの合計65.5%）、ランニング・ウォーキングコース（28.9%）、体育館（バドミントン・卓球・バレーボール・バスケットボールの合計20.8%）、プール（水泳13.3%）、テニスコート（10.6%）等の施設ニーズが高いと想定されます。
- ・スポーツの観戦・応援頻度については、「ほとんどしていない」が4割近くと最も多くなっていますが、一方で、5割以上の方は月に1日以上スポーツを観戦・応援しており、一定の割合で“みる”スポーツに親しんでいるといえます。
- ・観戦・応援するスポーツの種類については、硬式野球、サッカー、マラソン、相撲等、年間を通じてプロリーグや全国的・国際的な大会等が多く開催され、テレビで放送されることが多いスポーツの割合が高くなっているといえます。
- ・また、現地で直接、応援・観戦してみたいスポーツについては、硬式野球、サッカー、ラグビー、バレーボール等が上位に挙がっています。これらのスポーツの応援・観戦を実現するためには、プロチームの試合の実施、大会や競技会の誘致のほか、体育館（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・体操・ダンスの合計41.6%）、競技場（サッカー・ラグビー・陸上競技の合計38.2%）、硬式野球場（35.7%）等施設の充実や高規格化が求められるといえます。

3. スポーツ施設について

- ・市内にある公共のスポーツ施設の充実度について、ほとんどの施設で充実していると思う人が半数を超えています。特に、硬式野球場、陸上競技場、テニスコート、軟式野球場の充実度が高くなっ

ています。一方で、屋根付運動場、プールについては、充実していると思う人が過半を下回っており、充実度が低くなっています。

- ・不足していると思うスポーツ施設や機能については、プールやスポーツジム・トレーニングジム等が挙げられています。

4. 今後のスポーツ施設のあり方について

- ・今後のスポーツの活性化に必要なことについては、「スポーツ施設の数や質の充実」、「プロスポーツの観戦ができる環境の整備」、「高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備」、「スポーツイベントや大会の開催」が上位にあがっており、スポーツを“する”だけでなく、“みる”環境・機会が求められるとともに、高齢者や障害者を含めて誰もが身近にスポーツに触れることができる環境が求められているといえます。特に、実施したいスポーツ（問6）や応援・観戦スポーツ（問8）の結果を踏まえ、軽運動が可能な室内施設、ランニング・ウォーキングコース、体育館、プール、テニスコート、競技場、硬式野球場について、今後のあり方を検討する必要があるといえます。
- ・今後のスポーツ施設にとって重要なことについては、「利用料金の安さ」、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋室）等）の充実」、「スポーツ施設数の充実」等の施設に関するだけでなく、「施設へのアクセスのしやすさ」、「駐車場・駐輪場の確保」等の周辺環境についても多くあがっています。今後の施設整備においては、スポーツ施設を気軽に利用できるよう質の向上や、施設までの移動のしやすさ・便利さに留意が必要といえます。
- ・スポーツ施設を維持管理するための取組としては、施設利用者以外から何らかの方法により収益を確保したり、施設管理を効率化することで、維持管理を続けていくと考えている人が多くなっています。
- ・また、スポーツ施設の数減らす場合の対応については、施設の老朽化、利用状況、維持管理費用等の施設概要に加え、周辺の同種施設立地状況等も踏まえ、スポーツ施設のあり方を考える必要があるといえます。